

厚生労働省委託事業調査



令和6年度 介護労働実態調査

介護労働者の就業実態と就業意識調査

－労働者調査票－

この調査は、厚生労働省からの委託を受けて実施するものであり、介護の仕事に携わる皆様が働いておられる状況、仕事や職場についてのお考えを把握し、働きやすい職場環境整備に向けた施策を検討するために活用させていただく目的で実施するものです。

何卒調査にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご回答いただきました内容は、統計処理を施したうえで（公財）介護労働安定センターの個人情報管理規程等に基づき厳重に管理します。また、調査により得られたデータは介護労働実態調査以外の目的で使用することはございません。

（個人情報管理規程については <https://www.kaigo-center.or.jp/privacy.html> をご覧ください）

事業所ご担当者の方へ

この調査票を、別紙「労働者調査票 回答対象者（3名）の選定と配布のお願い」により選定した従業員の方に、返信用封筒と一緒にお配りください。

ご回答方法等について

- 1 本調査票を受け取った方ご自身の状況をご回答ください。
複数箇所で勤務されている方は、本調査票を受け取った事業所での状況についてご回答ください。
- 2 黒のボールペンまたは鉛筆で記入してください。
- 3 ご回答後は、調査票と一緒に受け取った緑色の返信用封筒（切手不要）に入れ、
ご回答者ご自身にて、2024年10月31日（木）までに投函してください
ますようお願い致します。
- 4 この調査についてご質問等がありましたら、以下の時間帯に担当までお問い合わせください。

公益財団法人 介護労働安定センター 雇用管理課 介護労働実態調査担当

お問合せ時間：平日 午前10時～午後0時、午後1時～午後5時（土、日、祝日を除く）

I 基本属性

問1 あなた自身についてお伺いします。

① 性別

男	女
1	2

② 年齢

	歳
--	---

(2024年10月1日現在)

③ 学歴等

㊦ 専修・専門学校を除く最終学歴。(〇は1つ)

1. 中学校	4. 高専、短大(介護福祉関係の学科)
2. 高等学校(介護福祉関係の学科)	5. 高専、短大(上記以外)
3. 高等学校(上記以外)	6. 大学・大学院(介護福祉関係の学科)
	7. 大学・大学院(上記以外)

④ 介護福祉関係の専修・専門学校を卒業しましたか。(〇は1つ)

はい	いいえ
1	2

④ 配偶関係 (〇は1つ)

既婚	未婚	離死別
1	2	3

⑤ あなたの家庭での主たる生計の維持者(世帯で最も生活費を負担している方)は次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

自分(本人)	自分(本人)以外	生計費は折半等
1	2	3

⑥ ㊦ あなたには現在、育児(注1)又は家族介護(注2)をしていますか。(〇は1つ)

1. 現在、育児をしている	4. この数年のうちに育児又は家族介護を始める可能性がある
2. 現在、家族介護をしている	5. 当面育児も家族介護もする可能性がない
3. 現在、育児と家族介護の両方をしている	

(注1) ここでの「育児」とは、小学校3年生以下のお子さんを養育することをいいます。

(注2) ここでの「家族介護」とは、ご自分や配偶者の両親又は配偶者に対して行う、身体介助、施設や遠距離での介護に加え、定期的な声がけ(見守り)、食事のしたくや掃除、洗濯などの家事、通院の送迎や外出の手助け、入退院の手続きや金銭の管理などの「手助け」も含むものとします。

⑦ すべての方にお伺いします。将来、育児や家族介護に直面した場合、仕事を続けることができるとお考えですか。(現在育児や家族介護をしている方は、今後も両立できると思いますか。)(〇は1つ)

続けることができと思う	続けられないと思う	わからない
1	2	3

Ⅱ 現在の仕事（職種）について

問2 あなたの主な仕事（職種）は次のうちどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. 訪問介護員 (介護保険法の指定を受けた訪問介護事業所で働き、高齢者等の家庭を訪問して家事等の生活援助、入浴などの身体介護を行う方)	5. 看護職員
2. 介護職員 (訪問介護以外の介護保険の指定介護事業所で働き、直接介護を行う方)	6. PT・OT・ST等 (PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員)
3. サービス提供責任者	7. 介護支援専門員(ケアマネジャー)
4. 生活相談員	8. その他()

問3 あなたが現在持っている介護に関する資格等についてお伺いします。

以下の介護に関する資格のうち、あなたが

- ① 現在持っている介護に関する資格等はどれにあてはまりますか。
- ② 今後取りたい資格はありますか。
- ③ ②で今後取りたい資格がある場合、その資格等はどれにあてはまりますか。

(あてはまる番号すべてに○)

(どちらかに○)

(あてはまる番号すべてに○)

① 現在持っている介護に関する資格等 1. 介護福祉士 2. 実務者研修 3. 介護職員初任者研修 4. 介護職員基礎研修 5. ホームヘルパー1級 6. ホームヘルパー2級 7. 主任介護支援専門員(主任ケアマネジャー) 8. 介護支援専門員(ケアマネジャー) 9. 認定看護師・専門看護師 10. 看護師・准看護師 11. PT・OT・ST 12. 社会福祉士 13. 精神保健福祉士 14. 上記の資格なし	② 今後取りたい資格はありますか 1. ある 2. ない	③ 今後取りたいと考えている介護に関する資格等 1. 認定介護福祉士 (一般社団法人認定介護福祉士 認証・認定機構が認定したもの) 2. 介護福祉士 3. 実務者研修 4. 介護職員初任者研修 5. 主任介護支援専門員 (主任ケアマネジャー) 6. 介護支援専門員(ケアマネジャー) 7. 認定看護師・専門看護師 8. 看護師・准看護師 9. PT・OT・ST 10. 社会福祉士 11. 精神保健福祉士 12. 上記以外の介護福祉関係の資格
--	--	---

問4 あなたが現在の仕事（職種）を選んだ理由は次のうちどれにあてはまりますか。
（あてはまる番号すべてに○（14を選択した方は他の番号に○をつけないでください））

1. 働きがいのある仕事だと思ったから	8. 資格・技能が活かせるから
2. 今後もニーズが高まる仕事だから	9. 介護の知識や技能が身につくから
3. 人や社会の役に立ちたいから	10. 給与等の収入が多いから
4. 生きがい・社会参加のため	11. 自分や家族の都合のよい時間（日）に働けるから
5. お年寄りが好きだから	12. 他により仕事がないため
6. 身近な人の介護の経験から	13. その他（ ）
7. 身近に介護関係の仕事をしている人がいたから	14. 特に理由はない

問5 「介護関係の仕事」の経験年数（2024年10月1日現在）を、他の法人での経験も含めて記入してください。

年 ヶ月

問6 これまでのお仕事の経験についてお伺いします。

- ① 学校卒業後、現在の仕事以外に収入を伴う仕事をしたことがありますか。
（○は1つ）

1. ない	→	問8へお進みください
2. ある	→	次の②へお進みください

- ② これまでの勤務先で経験した仕事の内容は次のうちどれにあてはまりますか。
（あてはまる番号すべてに○）
- ③ ②で選んだ仕事のうち、直前の仕事（現在の仕事に就く前）はどれに該当しますか。
（○は1つ）

	②これまでの仕事 （あてはまる番号 すべてに○）	③直前の仕事 （○は1つ）
介護関係の仕事（訪問系）	1	1
介護関係の仕事（通所系）	2	2
介護関係の仕事（施設系(注1)）	3	3
介護関係の仕事（その他(注2)）	4	4
介護以外の福祉関係の仕事	5	5
医療関係の仕事	6	6
介護・福祉・医療関係以外の仕事	7	7

（注1）施設サービス（特養、老健、介護医療院）、特定施設（有料老人ホーム・サ高住・養護老人ホーム・軽費老人ホーム）、グループホーム。短期入所を含む。

（注2）多機能系、居宅介護支援、介護予防支援、福祉用具等、その他

④ 直前の勤務先の仕事についてお伺いします。

ア 直前の雇用形態は次のうちどれですか。（○は1つ）

1. 無期雇用職員	2. 有期雇用職員	3. その他（ ）
-----------	-----------	-----------

イ 直前の事業所に何年勤めましたか。（○は1つ）

3～4ヵ月 以下	半年程度	1年程度	2年程度	3年程度	4年程度	5年以上
1	2	3	4	5	6	7

問7 問6①（前ページ）において、「学校卒業後、現在の仕事以外に収入を伴う仕事をしたことが「2. ある」と回答された方にお尋ねします。

① 現在の仕事に就く前の「直前の仕事」をやめた理由は次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 人員整理・勲奨退職・法人解散・事業不振等のため
2. 他に良い仕事・職場があったため
3. 新しい資格を取ったから
4. 収入が少なかったため
5. 自分の将来の見込みが立たなかったため
6. 自分に向かない仕事だったため
7. 職場の人間関係(注1)に問題があったため
8. カスタマー・ハラスメント(注2)があったため
9. 勤務先に仕事上の悩み事の相談ができなかったため
10. 勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため
11. 家族の転職・転勤、又は事業所の移転のため
12. 定年・雇用契約の満了のため
13. 病気・高齢のため
14. 結婚・妊娠・出産・育児のため
15. 家族の介護・看護のため
16. その他（ ）

(注1)「職場の人間関係」とは、上司、同僚、部下・後輩との人間関係をいいます。

(注2)「カスタマー・ハラスメント」は、顧客等(介護の場合利用者や家族)からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為をいいます。

「7. 職場の人間関係に問題があったため」または「10. 勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため」を選択された方のうち、直前の仕事が介護関係の仕事であった方(問6③(4ページ)で「1」～「4」のいずれかを回答した方)は、次の②③をお答えください。

それ以外の方は問8へお進みください。

問7①（前ページ）で「7. 職場の人間関係に問題があったため」を選択された方のうち、直前の仕事が介護関係の仕事であった方（問6③（4ページ）で「1」～「4」のいずれかを選択した方）にお尋ねします。

- ② その「職場の人間関係の問題」とは具体的にはどのような問題ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1.	上司や先輩からの指導や言動がきつかったり、パワーハラスメントがあった
2.	上司の業務指示が不明確、リーダーシップがなかった
3.	同僚からのきつい言動・悪口・嫌がらせ等があった
4.	職場で仕事のこと以外の会話がなかった
5.	職場内の仲間はずれや、疎外感・孤独感を感じた
6.	仕事の進め方に関する上司や同僚との意思疎通がうまくいかなかった
7.	職場の人間からセクハラを受けた
8.	仕事に対してやる気のない上司・先輩・同僚がいた
9.	部下・後輩に対する指導が難しかった
10.	その他（ ）

問7①（前ページ）で「10. 勤務先の事業理念や運営のあり方に不満があったため」を選択された方のうち、直前の仕事が介護関係の仕事であった方（問6③（4ページ）で「1」～「4」のいずれかを選択した方）にお尋ねします。

- ③ その「理念や運営のあり方」の不満とは具体的にはどのような不満ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1.	介護の質の向上(注)をさせる姿勢がなかった
2.	介護の質の向上(注)の手法・方向性が自分の考え方とは異なっていた
3.	介護の質の向上(注)の取り組みに対して職員の体制や処遇が追いつかなかった
4.	仕事の仕方に関する職員の提案を、管理者が聞いてくれなかった
5.	経営の効率性を過度に重視していた
6.	無駄な業務が多く職員の業務量負担への配慮が弱かった
7.	職場の人間関係の改善の取り組みをしなかった
8.	利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントから守る取り組みをしなかった
9.	その他（ ）

(注)「介護の質の向上」とは、利用者に対して、尊厳確保・虐待防止、QOL確保、自立支援に対する配慮等、質の高い介護サービスを提供することによって、その満足度を高めることをいいます。

Ⅲ 現在勤務している事業所（法人）について

ここからはすべての方にお尋ねします。

問8 あなたが勤務している事業所（主として働いている事業所）の所在地は次のうちどれですか。複数箇所でも勤務されている方は、本調査票を渡された事業所の所在地を記入してください。（○は1つ）

1. 北海道	2. 青森	3. 岩手	4. 宮城	5. 秋田	6. 山形	7. 福島	8. 茨城
9. 栃木	10. 群馬	11. 埼玉	12. 千葉	13. 東京	14. 神奈川	15. 新潟	16. 富山
17. 石川	18. 福井	19. 山梨	20. 長野	21. 岐阜	22. 静岡	23. 愛知	24. 三重
25. 滋賀	26. 京都	27. 大阪	28. 兵庫	29. 奈良	30. 和歌山	31. 鳥取	32. 島根
33. 岡山	34. 広島	35. 山口	36. 徳島	37. 香川	38. 愛媛	39. 高知	40. 福岡
41. 佐賀	42. 長崎	43. 熊本	44. 大分	45. 宮崎	46. 鹿児島	47. 沖縄	

問9 あなたが勤務している事業所の法人格（経営主体）は次のうちどれですか。（○は1つ）

1. 民間企業（個人・株式会社等）	6. 社団法人・財団法人
2. 社会福祉協議会	7. 協同組合（農協、生協）
3. 上記2以外の社会福祉法人	8. 地方自治体（市区町村、広域連合を含む）
4. 医療法人	9. その他（ ）
5. NPO（特定非営利活動法人）	10. わからない

問10 あなたが勤務している事業所及び法人の従業員数についてお伺いします。

① 事業所の従業員数は何人ですか。（注）（○は1つ）

（注）無期雇用職員以外のパート・登録職員等を含みますが、臨時職員（急な仕事のために臨時に雇用される方）は除きます。

1人 (あなたのみ)	5人以下	6人～10人	11人～ 19人	20人～ 49人	50人～ 99人	100人以上	わからない
1	2	3	4	5	6	7	8

② 同じ法人の中に、今勤務している事業所とは別の事業所がありますか。

1. ある	法人全体の従業員数はおよそ何人くらいですか。（○は1つ）
2. ない	

19人以下	20人～ 49人	50人～ 99人	100人～ 299人	300人～ 499人	500人以上	わからない
1	2	3	4	5	6	7

問11 あなたが今勤務している事業所の主な介護サービスの種類は次のうちどれですか。
 主な介護サービスの種類1つに○をしてください。（○は1つ）

1. 訪問介護	居宅サービス	13. 地域密着型通所介護	地域密着型サービス	
2. 訪問入浴介護		14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
3. 訪問看護		15. 夜間対応型訪問介護		
4. 訪問リハビリテーション		16. 認知症対応型通所介護		
5. 居宅療養管理指導		17. 小規模多機能型居宅介護		
6. 通所介護		18. 看護小規模多機能型居宅介護		
7. 通所リハビリテーション		19. 認知症対応型共同生活介護		
8. 短期入所生活介護		20. 地域密着型特定施設入居者生活介護		
9. 短期入所療養介護		21. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
10. 特定施設入居者生活介護		22. 介護老人福祉施設		施設サービス
11. 福祉用具貸与・特定福祉用具販売		23. 介護老人保健施設		
12. 居宅介護支援	24. 介護医療院			
		25. 介護保険以外のサービス	その他	
		26. その他()		
		27. わからない		

問12 現在の法人に就職した主なきっかけは次のうちどれですか。（〇は1つ）

1. ハローワーク	9. 法人又は施設・事業所のホームページ
2. 福祉人材センター	10. 法人又は施設・事業所が発信するSNS(注)
3. 学校・養成施設等での進路指導	11. 就職セミナー、採用説明会
4. 民間の職業紹介	12. 職場体験、職場実習やボランティア
5. 友人・知人からの紹介	13. 介護職員の養成のための講座・研修を通じて施設・事業所を知った
6. 求人・就職情報誌	14. 施設・事業所からの就職の働きかけ
7. 折込チラシ、新聞・雑誌の広告	15. 行政広報誌(市報、区報等)
8. 求人情報サイト	16. その他()

(注)LINE、X(旧Twitter)、Facebook、Instagram、YouTubeなど

問13 現在の法人に就職した理由は次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまる番号すべてに〇（18を選択した方は他の番号に〇をつけないでください））

法人・事業所自体 の条件	地元での評判が良いため	1
	法人の方針や理念に共感したため	2
	経営が健全で将来的に安定しているため	3
	通勤が便利だから	4
労働条件	賃金水準が比較的高いため	5
	時間外労働が少ないため	6
	有給休暇などの各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすいため	7
仕事の内容	質の高い介護を学べそうだったため	8
	自分のやりたい介護ができそうだったため	9
職場のコミュニケーションと環境	職場の人間関係がよさそうだったため	10
	事業所の設備・環境が働きやすそうだったため	11
	介護ロボット・ICT機器導入、業務改善等により業務負担の軽減を図っているため	12
	仕事と育児や介護の両立の支援を充実させているため	13
評価と能力開発	事業所内でのキャリアアップの道筋を明確化しているため	14
	能力や仕事ぶりを処遇に反映しているため	15
	事業所内外での研修機会が充実しているため	16
その他()		17
理由は特にない		18

Ⅳ 勤務状況・勤務条件等について

問14 あなたが今働いている法人での勤続年数

(2024年10月1日現在)を記入してください。

	年		ヵ月
--	---	--	----

問15 あなたの職位や就業形態についてお尋ねします。

① あなたの職位は次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. 管理職 (2.の主任・(サブ)リーダーなどを現場で統括している方をいいます)
2. 主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役
3. 一般職・担当職

② あなたは今後、より上位の職位を目指しますか。(〇は1つ)

1. より上位の職位を目指す
2.今のままでよい

③ あなたの雇用形態は次のうちどちらにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. 無期雇用の職員	2. 有期雇用の職員
------------	------------

④ あなたの就業形態は次のうちどちらにあてはまりますか。(〇は1つ)

1. フルタイム勤務
2. 短時間勤務で、勤務する日や時間があらかじめ定められている
3. 短時間勤務で、勤務する日や時間が週又は月ごとに変わる

問16 あなたが勤務する職場での、通常の1週間(月曜日～日曜日)に働く日数及び時間数をお伺いします。本調査票を渡された職場で、どのくらい働いていますか。

シフト勤務等で変動がある場合は、平均的な日数・時間を記入してください。

① 1週間に働いた日数 日

② 1週間に働いた時間数 時間 (残業時間も含めた1週間の労働時間を記入してください。)

③ うち、1週間の残業時間数 時間(1週間あたり)
(残業がない場合は「0」を記入してください)

問17 年次有給休暇の取得状況についてお伺いします。

最近1年間に付与された年次有給休暇の日数(繰り越し日数を除く)及び取得(消化)日数を記入してください。

時間単位で取得した場合、合計時間数を日数換算し記入してください。

新規付与日数(繰り越し日数を除く)	日	取得(消化)日数	日
-------------------	---	----------	---

問18 本調査票を渡された職場での、深夜勤務についてお伺いします。

① 深夜勤務（夜10時～朝5時）はありますか。

（○は1つ）

1. ある
2. ない

②～④については、深夜勤務のある方にお伺いします。

② 1ヵ月あたり平均して何回の深夜勤務がありますか。

--

 回/（1ヵ月当たり）
(注)回数は、整数で記入してください。

③ 仮眠や休憩はとれますか。（○は1つ）

1. 十分とれる	2. ある程度とれる	3. とれない
----------	------------	---------

④ 深夜勤務時には、何人の職員で、何人の入居者をみていますか。

職員

--

 人で、入居者

--

 人

(注)通常月の平均人数を、整数で記入してください。

ここからはすべての方にお尋ねします。

問19 賃金についてお伺いします。

賃金の支払形態及びその支払形態に該当する金額を記入してください。

① 支払形態（○は1つ）

② 支払形態に○をつけた欄に金額を記入してください。

1. 時間給	1時間あたり	千 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 円/時				
2. 日給	1日あたり	万 千 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 円/日				
3. 月給						
4. その他						

(注)従事する仕事の内容や時間帯によって金額が異なる場合は、基本となる金額の平均値を記入してください。

③ あなたの通常月の税込み月収はどのくらいですか。

賞与・残業代・休日出勤手当を除き、交通費等毎月決まって支給される各種手当を含む賃金額（税込）です。

①で「1. 時間給」又は「2. 日給」とした方も記入してください。

税込みで 平均

--	--	--	--	--	--

 円

V 働く上での悩みや意識

問20 ① あなたが労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○(20を選択した方は他の番号に○をはつけないでください))

1. 雇用が不安定である	11. 業務に対する社会的評価が低い
2. 無期雇用職員になれない	12. キャリアアップの機会がない
3. 人手が足りない	13. 夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある
4. 仕事内容のわりに賃金が低い	14. 介護業務と医療行為の境目が分かりにくいと不安がある
5. 労働時間が不規則である	15. 身体的負担が大きい
6. 労働時間が長い	16. 健康面(新型コロナウイルス等の感染症、怪我)の不安がある
7. 不払い残業がある・多い	17. 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある
8. 休憩が取りにくい	18. 工作中的の怪我などへの補償がない
9. 有給休暇が取りにくい	19. その他()
10. 精神的にきつい	20. 労働条件・仕事の負担について特に悩み、不安、不満等は感じていない

② あなたは、過去1年間で仕事中に職場の上司や先輩、同僚、部下・後輩から次のようなハラスメントを受けたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○(8を選択した方は他の番号に○をつけないでください))

1. 暴行・傷害(身体的な攻撃)
2. 脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言(精神的な攻撃)
3. 隔離・仲間外し・無視(人間関係からの切り離し)
4. 業務上明らかに不要なこと、遂行不可能なことの強制、仕事の妨害(過大な要求)
5. 業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと(過小な要求)
6. 私的なことに過度に立ち入ること(個の侵害)
7. その他()
8. 過去1年間で仕事中に職場内で上記のようなハラスメントを受けたことはない

③ あなたは、過去1年間で仕事中に利用者やその家族から以下のようなことを受けたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○(6を選択した方は他の番号に○をつけないでください))

1. セクハラ(性的嫌がらせ)
2. 暴力
3. 暴言(直接的な言葉の暴力)
4. 介護保険以外のサービスを求められた
5. その他()
6. 上記のような経験をしたことはない

VI 勤務先の取り組み

問21 あなたの勤務先において行われていることのうち、あなたが現在の職場を辞めずに働き続けることに役立っていると思うものはどれですか。

（あてはまる番号すべてに○（21を選択した方は他の番号に○をつけないでください））

労働条件	賃金水準の向上	1
	時間外労働の削減	2
	有給休暇等の各種休暇の取得や勤務日時の変更をしやすい職場づくり	3
	自分の希望や人間関係などに配慮した配置・異動	4
仕事の内容	介護の質の向上(注)を図るための価値観や行動基準の共有	5
	現場の裁量による創意工夫を尊重するマネジメント	6
コミュニケーション	人間関係が良好な職場づくり	7
	職場内での仕事上のコミュニケーションの円滑化(面談、ミーティング、意見交換会など)	8
	仕事外での職員間の交流の機会の設定	9
	悩み、不満、不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置	10
職場環境	事業所の設備・環境を働きやすいものに改善	11
	介護ロボット・ICT機器等の導入、業務改善等による業務負担の軽減	12
	健康対策や健康管理の充実	13
	仕事と育児や介護の両立支援	14
	託児所設置や保育費用支援等	15
評価と能力開発	事業所内でのキャリアアップの道筋の明確化	16
	能力や仕事ぶりを処遇に反映	17
	事業所内外での研修機会の充実	18
地域活動への事業所としての参加		19
その他()		20
役立っているものはない		21

(注)「介護の質の向上」とは、利用者に対して、尊厳確保・虐待防止、QOL確保、自立支援に対する配慮等、質の高い介護サービスを提供することによって、その満足度を高めることをいいます。

問22 勤務先の勤務制度についてあてはまるものはどれですか。（あてはまる番号すべてに○（6を選択した方は他の番号に○をつけないでください））

1. 勤務先の介護休業制度(注1)を知っている	4. 日頃から、有給休暇をとりやすい
2. 勤務先の介護休暇制度(注2)を知っている	5. 勤務日時の急な変更に対応してくれる
3. 突然の時間外勤務がない	6. いずれもあてはまらない

(注1)「介護休業制度」とは、要介護状態(負傷、疾病または身体上もしくは精神上の障害により、2週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態)にある対象家族を介護するための休業制度。

(注2)「介護休暇制度」とは、要介護状態にある家族の介護や世話を行うために、労働者が取得できる年次有給休暇とは別に付与される短期の休暇制度。

問23 勤務先の仕事と育児を両立させるための休業・休暇・短時間勤務制度等についてあてはまるものはどれですか。（○は1つ）

制度があることを知っている	制度を活用しやすい	1
	代わりに担当してくれる職員がいないので制度を活用しにくい	2
	その他の理由で制度を活用しにくい	3
	活用しやすいかどうかわからない	4
制度があるかどうかよく知らない		5

Ⅶ 勤務先への評価について

問24 あなたの今の仕事や職場には、次のようなことがあてはまりますか。
(あてはまる番号すべてに○(14を選択した方は他の番号に○をつけないでください))

1 福祉に貢献できる	8 期待される役割が明確である
2 利用者の援助・支援や生活改善につながる	9 目標にしたい先輩・同僚がいる
3 利用者や家族から感謝される	10 法人(事業所)や上司から働きぶりが評価される
4 専門性が発揮できる	11 キャリアアップの機会がある
5 業務改善の機会がある	12 生計を立てていく見込みがある
6 自分が成長している実感がある	13 収入が安定している
7 仕事が楽しい	14 いずれもあてはまらない

問25 現在の仕事の満足度についてお伺いします。(①～⑮のそれぞれの項目ごとに○は1つ)

項 目	満足	やや満足	普 通	やや不満足	不満足
① 仕事の内容	1	2	3	4	5
② キャリアアップの機会	1	2	3	4	5
③ 賃金水準	1	2	3	4	5
④ 労働時間・休日等の労働条件	1	2	3	4	5
⑤ 人員配置体制	1	2	3	4	5
⑥ 仕事と育児や介護の両立	1	2	3	4	5
⑦ 人事評価のあり方	1	2	3	4	5
⑧ 職場の人間関係	1	2	3	4	5
⑨ 仕事上の相談の環境	1	2	3	4	5
⑩ 仕事関係の情報の共有	1	2	3	4	5
⑪ 雇用の安定性	1	2	3	4	5
⑫ 仕事のための設備・機器・用具類	1	2	3	4	5
⑬ 休憩室などの付帯設備	1	2	3	4	5
⑭ 教育訓練・能力開発の機会	1	2	3	4	5
⑮ 職業生活全体	1	2	3	4	5

問26 ① あなたの仕事(職種)に関する今後の希望は次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ) ② あなたは今の事業所で働き続けたいですか。(○は1つ)

1. 今の仕事(職種)を続けたい 2. 今の仕事(職種)ではない、介護関係の仕事(職種)に就きたい 3. 今の仕事(職種)ではない、福祉・医療関係の仕事(職種)に就きたい 4. 介護・福祉・医療関係以外の仕事(職種)に就きたい 5. わからない 6. 働きたくない	1～5を選んだ方は②へ	1. 今の事業所で働き続けたい 2. 今の法人内の別の事業所に転勤したい 3. 別の法人や企業などに転職したい 4. わからない
---	-------------	---

Ⅷ 訪問介護員又はサービス提供責任者の方にお尋ねします

問27は、問2（3ページ）で、あなたの主な仕事（職種）として「1. 訪問介護員」を選択した方のみ、お答えください。

問27 あなたは、勤務（訪問介護のほか、その準備、報告、研修、会議・打ち合わせなどを含む）のために所属先の訪問介護事業所（事務室）にどの程度出向きますか。（○は1つ）

勤務のある日に 毎日とは出向かない	出向くのは平均月1日未満	1
	出向くのは平均月1日以上～週1日（月4日）未満	2
	出向くのは平均週1日（月4日）～週3日（月12日）未満	3
	出向くのは平均週3日（月12日）以上	4
勤務のある日は原則として毎日出向く		5

問28～問30は、問2（3ページ）で、あなたの主な仕事（職種）として「3. サービス提供責任者」を選択した方のみ、お答えください。

問28 あなたは担当する訪問介護員に対して、次のようなコミュニケーションや研修・指導を実施していますか。

（それぞれの取り組みごとに○は1つ）

	十分実施している	ある程度実施している	あまり実施していない	実施していない
訪問介護員が作成する介護記録・報告書に対する助言・指導	1	2	3	4
訪問介護員からの仕事上の課題などに関する相談や指導など	1	2	3	4
訪問介護員の仕事以外の悩みなどへの相談など	1	2	3	4
訪問介護員との日常的な情報交換	1	2	3	4
訪問介護員同士が仕事に関して相談や意見交換をできる機会の設定（ミーティングなど）	1	2	3	4
新任の訪問介護員に対する同行訪問	1	2	3	4
新規利用者を訪問する訪問介護員に対する同行訪問	1	2	3	4
事例検討会・カンファレンスの開催	1	2	3	4
介護技能向上のための職場内研修・勉強会の実施	1	2	3	4
外部の研修会等の受講機会の設定	1	2	3	4

問29 ① あなたのこの1カ月の就業時間を10とすると、以下の項目はそれぞれどの程度の比率になっていますか。

② また、自分にとって望ましいと思われる比率はどの程度ですか。

平均的な1ヶ月の状況について、それぞれ合計が10になるように、各欄に0～10の整数（小数点以下は無し）でお答えください。

	訪問介護員に対する調整・指導・研修（同行訪問を除く）	訪問介護員との同行訪問	その他の管理業務	訪問介護業務（ご自身の担当分）	訪問介護業務（他の担当者の代行分）	合計
①現在の比率						10
②望ましい比率						10

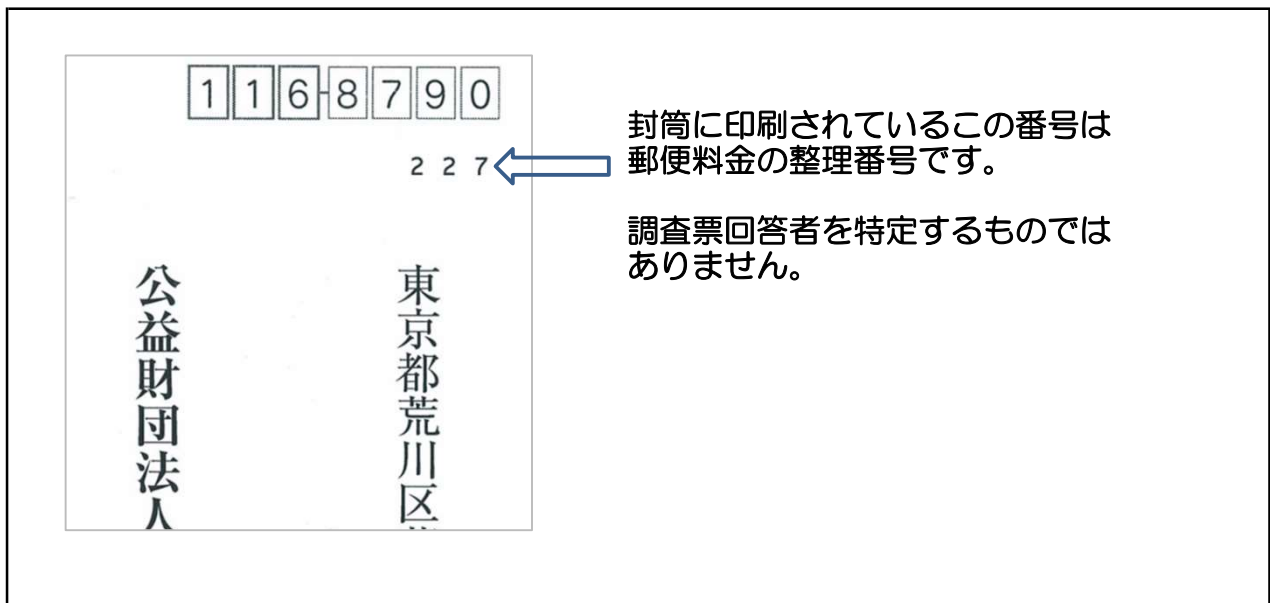
問30 担当する訪問介護員に関して、以下の表に該当する人数をそれぞれ整数で記入してください。

2024年10月1日現在	2023年10月1日～2024年9月30日の間		
担当している訪問介護員の現在数	新たに担当となった訪問介護員の数	担当していた訪問介護員のうち、離職した方の数	担当していた訪問介護員のうち、離職以外の理由で担当外となった方の数
人	人	人	人

以上で質問は終了です。

お忙しいところ、調査にご協力くださいましたありがとうございます。

この調査票はご回答者ご自身にて、一緒に受け取った緑色の封筒に封入し、
2024年10月31日（木）までに切手を貼らずにそのままポストに投函して
ください。



調査結果につきましては、以下のホームページに掲載する予定です。

公益財団法人 介護労働安定センター
<https://www.kaigo-center.or.jp/>

※（公財）介護労働安定センターは、介護労働者の福祉の増進を図ることを目的として「介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律」（平成4年法律第63号）に基づき厚生労働大臣から指定を受けた全国組織の公益法人です。

—私たちの理念—

介護を未来にわたって支えるため、働きやすい、働きがいのある職場づくりに貢献します